

■ V群の評価

◎良い4点 ○まあ良い3点 △努力2点 ×1点関連がない・不十分

群	下位項目	評価内容と基準	平均	コメント	方向性	
V 経営・管理過程	設置者の意思・指針	37 養成所の設置、教育理念、教育目的、教育課程運営、教育評価、および養成所の管理運営に関する管理者の考え方を、設置者の意思との一貫性を持って明示し、かつ教職員は理解しているか	3.3	・評価項目37・38・40～42については、共通理解の下で進めていけるための周知・情報活用の推進が必要。 ・評価項目39についてはⅢ群の評価項目18～20とも関連している。組織運営と構成上、各自の専門性の担保という点においては課題がある。教員の年齢層も加味した新たな教員の任用と、現状の組織の構成の中で教育理念・目的と整合性が取れるように引き続き尽力していく。また、Ⅲ群の評価項目20とも関連し、相互研鑽システムの弱さも一因となっている点を加味し対応していく。	周知と共通理解、情報活用の推進。 相互研鑽のシステムづくり。 新たな教員の任用。 合理的配慮の公表・学生への提示。	
		38 組織体制は養成所の教育理念・目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えているか	3.4			
	組織体制	39 組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考えと対策は、教育理念・目的を達成するために整合性を持っているか	3.2	・評価項目43・44については、財政基盤の状況を踏まえ計画しているが、多額な予算確保が必要なものについては実現に至っていない。予算の執行状況の下、新規で整備可能なものは随時、対応している。		
		財政基盤	40 養成所の財政基盤をどのように確保しようとしているかについて明確な考え方をもち、学習・教育の質の維持・向上につながるようになっているか	3.2		・学生支援に関しては、外部からの相談者の配置、面接、教員会議などでの支援内容の検討等を行っている。メンタル面で不安定な学生が増え、休学理由を占めている。本人の特性をふまえながら継続的に支援はしているが、2点評価もあり改善要素の確認が必要。
			施設設備の整備	41 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようにしているか		3.2
	42 学習・教育環境について、管理者としてどのような考えをもつて整備しようとしているかを示し、その考えに基づいて整備計画を立案し、実施しているか	3.1				
	43 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化にあわせて、整備・改善できるようになっているか	2.9				
	学生生活の支援	44 学生および教職員にとっての福利厚生の施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備しているか	3.0			
		45 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか	3.4			
		養成所に関する情報提供	46 教育・学習活動に関する関係者への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ているか	3.3		
	養成所の運営計画と将来構想		47 広報活動は、看護専門職を育成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか	3.0		・広報活動自体は年度ごとに多様化し充実させているが評価は低い。組織内での周知の不足も考えられる。引き続き充実度を評価し、適宜、改善していく。 ・自己点検・自己評価は毎年行い、設置主体の考えの下、将来構想に繋げ課方針書・組織目標をもとに従事している。
			48 養成所の運営は明確な将来構想の基に、中・長期計画、短期計画、毎年の運営計画・実施・評価は整合性をもっているか	3.2		・令和10年度に愛知県看護師養成所等指導調査をひかえており、外部評価を受ける機会となる。過去3年間の書類の確認があるため、自己評価の視点でも書類の整備状況を確認し備えとしていく。
	自己点検・自己評価体制	49 自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確に持っているか	3.4	・令和8年度の学校教育法の改正により第三者評価が義務付けられたが、本校のような3年課程の専門学校においては第三者評価を導入せず、毎年の自己点検・自己評価の実施と公表で良いことになっている。従来通り、毎年の実施を継続していく。		
		50 養成所の自己点検・評価体制を整え、運用し、その機能を養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念、目的、目標を維持・改善しているか	3.2	・課題となった内容は優先事項から対応しているが、カリキュラム運営と授業実践にフィードバックできていないものもあるため改善していく。 ・新カリキュラム一回生の卒業1年の調査を行い自己評価の客観性に繋げていく。		
	V群平均			3.2		